

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広畑グローバルロジスティクスセンター	階数	地上2F
建設地	兵庫県姫路市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2020年7月1日
敷地面積	26,000 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	14,710 m <sup>2</sup>	確認日	2020年8月17日
延床面積	23,971 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
開口部の設置を最低限とし、熱負荷の低減と快適性の確保の両立をはかった。	0	
<b>Q1 室内環境</b> 空気質環境に関して、告示対象外及びF☆☆☆☆材料をほぼ全面的に使用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 充分な階高、天井高、リフレッシュスペースを確保。また、大空間化することで、フレキシビリティを確保している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物周辺に緑化を配置し、敷地内温熱環境の向上に努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> 開口部の設置を最低限とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマ、トイレに節水器具を採用。主要構造躯体のコンクリート基準強度を高くした。	<b>LR3 敷地外環境</b> オール電化とした。普通車両、大型車両の駐車スペースに配慮した。十分な構内通路の確保により周辺交通に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される